



学びが広がる



学校図書館

子どもたちの育ちと自立を支援します

いきいきと
学ぶ授業を
ともにつくります

学ぶ意欲を高め
情報リテラシー
を育みます

地域の人々と
手をつなぎ
成長を支えます

読書体験を
豊かにし
世界を広げ
深めます

誰でも集い
交流できる
「広場」
をつくります



学校図書館問題研究会



学びが広がる 学校図書館



学校図書館は子どもたちの・・・

学ぶ意欲を高め、情報リテラシーを育みます

- ・ 豊富な資料の提供で、「わかる」体験を支援します
- ・ リクエストやレファレンスに応え、自ら学ぶ手助けをします
- ・ 問題を発見し、自ら調べ、考え、発信し、自立する力を育てます

いきいきと学ぶ授業をともにつくります

- ・ 授業をいきいきとさせる幅広い資料を教師に紹介します
- ・ ブックトーク等を行い、授業への興味を広げ、深めます
- ・ 教師とともに授業に参加して「学び」を豊かにします

読書体験を豊かにし、世界を広げ・深めます

- ・ ブックトーク等で読書への興味を引き出し、楽しさを伝えます
- ・ 読書のプライバシーを守り、一人ひとりを大切にします
- ・ 読書会などで、子どもたちのつながりをプロデュースします

誰でも集い、交流できる「広場」をつくります

- ・ 「心のオアシス」、ホッとできる居場所をつくります
- ・ 学校職員として一人ひとりの声に耳を傾け、また問題解決に役立つ資料を提供します
- ・ 様々な子どもたちが集い、交流し、発信する広場となります

地域の人々と手をつなぎ、成長を支えます

- ・ 地域の人々とともに、子どもの「学び」をさらに豊かにします
- ・ 保・幼・小・中・高校の連携で子どもの成長を支えます
- ・ 図書館の専門家として地域での読書環境を充実していきます





学びが広がる 学校図書館



学校図書館は子どもたちの・・・

学ぶ意欲を高め、情報リテラシーを育みます

- ・豊富な資料の提供で、「わかる」体験を支援します
- ・リクエストやレファレンスに応え、自ら学ぶ手助けをします
- ・問題を発見し、自ら調べ、考え、発信し、自立する力を育てます

いきいきと学ぶ授業をともに作ります

- ・授業をいきいきとさせる幅広い資料を教師に紹介します
- ・ブックトーク等を行い、授業への興味を広げ、深めます
- ・教師とともに授業に参加して「学び」を豊かにします

読書体験を豊かにし、世界を広げ・深めます

- ・ブックトーク等で読書への興味を引き出し、楽しさを伝えます
- ・読書のプライバシーを守り、一人ひとりを大切にします
- ・読書会などで、子どもたちのつながりをプロデュースします

誰でも集い、交流できる「広場」を作ります

- ・「心のオアシス」、ホッとできる居場所を作ります
- ・学校職員として一人ひとりの声に耳を傾け、また問題解決に役立つ資料を提供します
- ・様々な子どもたちが集い、交流し、発信する広場となります

地域の人々と手をつなぎ、成長を支えます

- ・地域の人々とともに、子どもの「学び」をさらに豊かにします
- ・保・幼・小・中・高校の連携で子どもの成長を支えます
- ・図書館の専門家として地域での読書環境を充実していきます

学校図書館職員は、幅広い視点から多様な資料を収集し、子どもたちがワクワクするような魅力的な棚づくりをおこない「本との出会い」をつくります。リクエストや予約に応え、他館から借りるなどして、必要とされる資料を草の根分けでも提供します。また図書館利用のガイダンスを行い、一人ひとりの疑問にレファレンスサービスできちんと応えます。「調べ学習」では、テーマ設定や情報の収集・整理の仕方、プレゼンテーション方法、情報モラルなどに関するアドバイスをします。そうしてさまざまな「知りたい」「読みたい」に資料を提供することで応え、知的好奇心を引き出し、「わかった」「読めた」喜びに変え、学ぶ楽しさを伝えます。こうした図書館体験を繰り返し積み重ねていくことで、子どもたちは自ら問題を発見し、調べ、考え、発信し、課題を解決するために意欲的に行動する力（情報リテラシー）を育み、自立する力を高めていきます。

学校図書館職員は授業にきめ細かく対応するために、職員会議などに参加して学校の教育目標を把握し、学習指導要領や教科書、指導書に目を通します。そして教師とともに打ち合わせを重ね、授業づくりの支援をします。例えば、「調べ学習」の計画から関わり、学習に必要な資料を幅広い視点からそろえます。またチームティーチングで授業に参加し、ブックトークや読み聞かせで、子どもたちの授業への興味を広げたり、情報リテラシー教育の支援をしたりします。そして一人ひとりの調べ物やレポート作成のプロセスで必要となる資料を提供し、「学び」をより豊かにします。

学校図書館職員は、子どもたちの興味関心に応じた本や読み継がれてきた本、現代の課題についての本などをあらゆる手法で紹介します。例えば読み聞かせやブックトークなどを行うとともに、一人ひとりとコミュニケーションをとってその子どもに適した資料を提供します。そのことで読書に対する興味を引き出し、楽しさを伝え、読書の世界を広げ・深めます。また子どもたちの読書についてプライバシーを守り、安心して学校図書館を利用できるようにします。読書会などの図書館行事を催し、クラスや学年を超えた子どもたち同士のつながりも広がります。

学校図書館は扉を常に開き、いつでも・誰でも・ひとりでも・集団でも利用できます。また様々な子どもの「居場所」でもあります。ソファや観葉植物などをおきホッとできる「心のオアシス」にもなります。そして学校図書館職員は学校職員のひとりとして、カウンセリングマインドをもち、子どもを知り、一人ひとりの声に耳をかたむけ、それぞれが抱える問題について適切な資料を提供します。さらに学校図書館は様々な子どもが出会い、交流して、様々な文化活動や自己表現をする「広場」にもなります。そうした子どもたちを見守り、交流や活動をプロデュースすることも、学校図書館職員の大切な役割です。

学校と地域の人々との連携がすすんできました。子どもたちの成長を視野にいれて、保護者、公共図書館司書、保育園・幼稚園職員、地域文庫、公民館職員など、読書に関わる様々な人々と、子どもたちの読書について一緒に考えていくことが大切です。学校図書館職員は、地域の専門家を学校に招いて授業や図書館行事を豊かにしたり、読み聞かせボランティアなどをコーディネートします。そして地域全体の子どもたちの読書環境を充実していく視点から、読書を楽しむイベントを開催したり、子どもの読書に関する情報を交流したりするなど、地域の人々と手をつなぎ学びあい、子どもの成長を支えています。



子どもたちの
育ちと自立を
支援します!!

そのためには、学校図書館に
「専任・専門・正規」の職員が必要です。

がくとけん

■ 私たち学校図書館問題研究会(学図研)は、

全国の学校図書館に関わる教職員・図書館関係者・学校図書館に関心を持つ市民・研究者などで作る個人加盟の研究団体です。

1985年の結成以来、学校図書館を通して、子どもたちの教育環境の充実をめざし、日々研鑽を続けています。

このパンフレットにある「専任・専門・正規」の職員について詳しい内容は、学図研のホームページをご覧ください。

がくとけん

検索

<http://homepage3.nifty.com/gakutoken/>

■ 私たちのよりどころとするもの

- ・「学校図書館法」(1953年 最終改正2007年)
- ・「ユネスコ学校図書館宣言」(1999年)
- ・「子どもの権利条約」(1994年 批准)
- ・「図書館の自由に関する宣言」(1979年 改訂)

学校図書館は本だけではなく、新聞・雑誌・AV資料・データベース・ネット情報などを取り扱っています。このパンフレットでは、これらを「資料」という言葉で表現しています。

発行日：2012年2月11日

編集・発行：学校図書館問題研究会

イラスト：京子 校正・デザイン：藤原 敏嗣 (famo.)

問い合わせ：<http://homepage3.nifty.com/gakutoken/>

上記HPのメールフォームよりお問い合わせください。

